平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月７日

上 場 会 社 名　丸一鋼管株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　5463　　ＵＲＬ　http://www.maruichikokan.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役会長兼CEO　（氏名）鈴木　博之
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長　（氏名）河村　康生　（TEL）06-6531-1201

四半期報告書提出予定日　平成25年８月13日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	31,035	8.1	4,804	30.6	5,659	35.8	3,446	－
25年３月期第１四半期	28,703	△2.3	3,678	△15.8	4,167	△15.7	△1,044	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　7,601百万円（－%）　25年３月期第１四半期△865百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	40.67	40.64
25年３月期第１四半期	△12.26	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	278,945	229,255	78.8
25年３月期	271,236	225,256	79.9

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　219,948百万円　25年３月期　216,601百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	20.00	－	41.50	61.50
26年３月期	－				
26年３月期(予想)		25.00	－	37.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	63,500	9.3	8,500	20.2	10,000	25.7	6,100	285.0	71.99
通期	136,000	15.6	17,400	12.9	19,500	11.1	11,700	10.2	138.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無
新規　―社　（社名）　、除外　―社　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年３月期１Ｑ	94,000,000株	25年３月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	9,264,694株	25年３月期	9,270,685株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年３月期１Ｑ	84,730,756株	25年３月期１Ｑ	85,226,325株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報.... 2
(1) 経営成績に関する説明.... 2
(2) 財政状態に関する説明.... 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.... 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.... 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.... 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.... 4
３．四半期連結財務諸表.... 5
(1) 四半期連結貸借対照表.... 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.... 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間.... 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間.... 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.... 9
（継続企業の前提に関する注記）.... 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）.... 9
（セグメント情報等）.... 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策や円安により輸出企業を中心とした収益改善や株価の上昇など、景気の回復傾向が見られました。一方で、中国経済の減速をはじめとする海外景気の下振れ懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

（日本）

国内事業につきましては、販売数量面では前年同期比改善しておりますが、製品価格については、高炉の原材料価格値上げ発表を受けて、４月以降製品価格への転嫁に取り組んでまいりました。しかしながら、値上げは未だ途上にあり、一方原材料コイル値上げは避けて通れない状況にあり、コストアップが懸念されます。

このような状況のなかで国内事業は、売上高は223億2千2百万円（前年同期比3.7％増）、セグメント利益は44億8千6百万円（前年同期比29.3％増）となりました。

（北米）

北米事業につきましては、米国のマルイチ・アメリカン・コーポレーション（MAC社）、マルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）において、売上高は40億3千4百万円（前年同期比9.9％増）と増加いたしましたが、Leavitt社の新規設備投資による減価償却費の負担増などもあり、セグメント利益は3千7百万円（前年同期比78.3％減）と大幅に減少いたしました。

（アジア）

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）で同社のハノイ子会社の販売が本格化したことなどにより販売数量が増加し、売上高は46億7千8百万円（前年同期比33.8％増）と大幅に増加し、セグメント利益も2億8千2百万円（前年同期比653.3％増）と大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高は310億3千5百万円（前年同期比8.1％増）、営業利益は48億4百万円（前年同期比30.6％増）、経常利益は56億5千9百万円（前年同期比35.8％増）、四半期純利益は34億4千6百万円を計上いたしました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル92円42銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は2,789億4千5百万円（前連結会計年度比77億9百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、主として現金及び預金が11億4千1百万円増加したことにより流動資産合計で18億7千9百万円増加しました。固定資産については、投資有価証券が株式の時価の上昇による評価差額金の増加により31億8千万円、SUNSCO社などの設備投資の増加により有形固定資産が26億3千7百万円増加したことなどにより、固定資産合計で58億3千万円増加しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は496億9千万円（前連結会計年度比37億1千1百万円の増加）となりました。

主な内容は、短期借入金が15億4千3百万円増加したことにより、流動負債合計で20億5千万円増加しました。固定負債については、株式の時価評価に関わる繰延税金負債が10億8千8百万円増加したことにより、固定負債合計で16億6千万円増加しました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は2,292億5千5百万円（前連結会計年度比39億9千8百万円の増加）となりました。

主な内容は、その他有価証券評価差額金が19億8千8百万円、為替換算調整勘定が14億1千9百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月９日付「平成25年３月期決算短信［日本基準］（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、国内経済の回復に伴う鉄鋼市況の回復や復興需要の本格化など、需要面での好転が期待されることから、販売数量の拡大に努めてまいります。価格面では、建材製品の陥没価格是正や原材料のコイル値上げに対応するために引き続き製品の値上げの浸透に取り組んでまいります。

一方、今年末に完了予定の東京工場の東京第二工場への集約により、生産体制を再構築し、生産面の効率化もはかってまいります。太陽光発電事業については、詫間工場や堺地区で太陽光発電設備が稼働し始めており、東京第二工場及び名古屋工場の設備についても順次稼働を進め、電力問題への対応を進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、米国Leavitt社では、新規設備により自動車およびエネルギー分野など、新規分野での販売の拡大に努め、収益面の改善に努めてまいります。また、メキシコのマルイチメックスS.A. de C.V.が4月に操業を開始しましたが、現地に進出している日系自動車メーカー等のニーズに対応し、現地での需要の捕捉に努めてまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社ではAPIラインパイプの輸出拡大、ベトナム国内の需要の拡大及び新規ユーザーの開拓などにより、販売数量の拡大に努めてまいります。一方、6月に稼働を開始した第2CCL（カラー鋼板ライン）や8月に稼働予定である第2CGL（連続溶融亜鉛めっきライン）などの新規設備により、生産能力の増強と品質の更なる向上をはかってまいります。また、インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、自動車メーカー向けステンレス鋼管のシェア拡大に努めてまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,595	57,737
受取手形及び売掛金	29,334	29,446
有価証券	19,008	19,221
製品	8,049	8,471
原材料及び貯蔵品	13,371	13,147
その他	3,742	3,946
貸倒引当金	△247	△237
流動資産合計	129,854	131,733
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,367	30,411
その他	45,011	47,603
有形固定資産合計	75,378	78,015
無形固定資産		
のれん	79	62
その他	1,409	1,437
無形固定資産合計	1,488	1,500
投資その他の資産		
投資有価証券	61,175	64,356
その他	3,354	3,356
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	64,514	67,696
固定資産合計	141,381	147,212
資産合計	271,236	278,945

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,745	13,681
短期借入金	5,772	7,315
未払法人税等	2,298	1,824
賞与引当金	831	376
役員賞与引当金	74	23
その他	7,540	9,093
流動負債合計	30,264	32,314
固定負債		
長期借入金	10,194	11,026
退職給付引当金	3,087	3,124
役員退職慰労引当金	47	51
繰延税金負債	1,857	2,945
その他	528	227
固定負債合計	15,715	17,375
負債合計	45,979	49,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	211,892	211,819
自己株式	△20,504	△20,491
株主資本合計	216,805	216,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,375	7,364
為替換算調整勘定	△5,579	△4,160
その他の包括利益累計額合計	△204	3,203
新株予約権	102	92
少数株主持分	8,553	9,214
純資産合計	225,256	229,255
負債純資産合計	271,236	278,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日)
売上高	28,703	31,035
売上原価	22,495	23,482
売上総利益	6,208	7,553
販売費及び一般管理費	2,529	2,748
営業利益	3,678	4,804
営業外収益		
受取利息	16	36
受取配当金	261	354
持分法による投資利益	63	79
為替差益	―	362
その他	257	183
営業外収益合計	599	1,015
営業外費用		
支払利息	36	31
不動産賃貸費用	63	63
アドバイザリー費用	―	38
その他	11	26
営業外費用合計	111	160
経常利益	4,167	5,659
特別利益		
投資有価証券売却益	196	1
その他	0	0
特別利益合計	196	2
特別損失		
固定資産除却損	4	2
投資有価証券売却損	―	9
投資有価証券評価損	3,536	―
その他	0	0
特別損失合計	3,540	11
税金等調整前四半期純利益	822	5,650
法人税等	1,766	1,993
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△943	3,656
少数株主利益	100	210
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,044	3,446

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△943	3,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,335	2,253
為替換算調整勘定	906	1,586
持分法適用会社に対する持分相当額	507	104
その他の包括利益合計	78	3,944
四半期包括利益	△865	7,601
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,246	6,854
少数株主に係る四半期包括利益	381	746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,534	3,672	3,496	28,703	－	28,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	－	－	30	△30	－
計	21,564	3,672	3,496	28,733	△30	28,703
セグメント利益	3,468	174	37	3,680	△1	3,678

（注）１．セグメント利益の調整額△1百万円はセグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．第１四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた、第１四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、16,508百万円（前連結会計年度末14,271百万円）であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,322	4,034	4,678	31,035	－	31,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	－	－	35	△35	－
計	22,357	4,034	4,678	31,070	△35	31,035
セグメント利益	4,486	37	282	4,806	△1	4,804

（注）１．セグメント利益の調整額△1百万円はセグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。